

楽しい催しがいっぱい

健康まつり2006

10月1日(日)午前10時~午後2時 代々木病院

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL (3404) 7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

在宅復帰を支援する

代々木病院のとりくみ

退院後も安心して自宅や介護施設で暮らせるように

知恵出し あつて

病気やケガなどが原因で、体が不自由な状態です。退院せざるを得ない方が、少なからずいらっしゃいます。

その状況でも、ご家族の待つご自宅での生活に戻られる方々のために、どう援助するか。

ご家族の介護量が極力少なく、またご本人がより人間らしく、安心して生活を送るためには、何が必要か。入院して治療を行い、病状が少し落ち着いてから、医師をはじめ、病棟・リハビリ

リ、ケースワーカーやケアマネジャーなどの関係職種で知恵を出し合って、退院に向けた準備を始めます。

退院される頃にどれくらい病状が改善されるかを想定して、必要な

性が高ければ、電動ベッドや車椅子、浴室内で使用する椅子やマットなど、福祉機器の選別と導入を手配します。

また、お宅を訪問して家屋状況を見させていただき、廊下や居室、浴室やトイレなど、業者の手すり設置や段差解消などの家屋改修を依頼する必要がある方

身の回りのことに介護が必要になる方の場合は、ご家庭で実際に介護をなさる方へ、専門職種が介護方法の指導をさせていただきま

す。オムツの交換、寝返り・起きあがり、ベッドから車椅子への移乗、お食事、トイレや入浴時など、基本的にその方の生活に必要な可欠なことについて対応していきます。

千駄ヶ谷にお住まいの方も、体調を崩されたら、代々木病院へ入院。その後、4階病棟で自宅への退院準備

をされました。入院前は、何とか手助けを受けながら歩くことができていたのに、退院後は痛みが残り、介助なしでは動くことができなくなってしまう

また、トイレまで移動するのが大変という

ことで、オムツ交換の仕方やベッドから車椅子への移動の介助方法を、ご家族に指導させていただきます。

そこで、入院中の担当理学療法士と、ケアマネジャーとそれまで通所リハビリでリハビリを担っていた作

業療法士が、ご自宅を訪問し、ご家庭の状況を見させていただき、いろいろ教えていただいていた。そして、ご家族と相談の上、床ずれ予防のマットと車椅子、玄関の段差を解消するためのスライド式スロープなどの福祉機器を導

入していただくことになりました。

また、トイレまで移動するのが大変という

ことで、オムツ交換の仕方やベッドから車椅子への移動の介助方法を、ご家族に指導させていただきます。

とくにギャッツベットの導入で、起きあがりや介助がだいぶ楽です」とご家族。娘さん



歩行訓練する西 伊三郎さん (本文とは関係ありません)

老後の安心を根こそぎ奪う 医療改革を中止させましょう

自民、公明の与党が先の国会で強行成立させた医療「改革」法によって、患者負担の引き上げや地域から入所介護や入院のベッドがなくなるなど高齢者医療の大改革が進められようとしています。

実施の中止を求める声をあげましょう。

署名にご協力ください

退院後の フォローも

医療保険の診療報酬

保土田朝子編集委員

とお嫁さんと、日中は介助されながら車椅子でトイレへ行かれたり、車椅子に腰掛けて過ごされたり、と入院中よりも横になってい

る時間が短くなっているように感じました。

退院後も当院で定期的に外来受診をし、体的に管理もされています。ご本人は、入院中より会話がはずみ、週に2回通われているデイサービスで、新しいお仲間ができたことご家族へ話されているそうです。

手術台

話題の映画「紙屋悦子の青春」を観た。戦時中の日常を描いた作品である。

派手な戦闘場面はまったくなく登場人物たちの会話のやり取りがとてつもない面白く、楽しい。しかし日常生活に戦争の影が忍び寄り、物静かに戦争の悲惨さを描いた秀作である。戦争が引き裂いた恋、物資の不足、家族の遅い帰宅を心配する心情、なにより空襲で爆弾に当たらないように食べ物を顔をかけながら一家で食事する場面はいじらしい。出撃命令を受けた好意を寄せる特攻隊員に感情を押し殺して「敵艦を沈めてください」とヒロインを送り出す。いま私たちにこのような日常はない。しかし61年前はこれが日常であり、青春だったのだ。▼当時と違うことは2つ。戦争反対を意思表示できること(映画の中で「はやく負けなければいいのに」は禁句として描かれていた)、そして憲法9条があること。あたり前の日常を守るのには9条である。(秀)